慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	執筆者紹介；編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2011
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.28, (2011.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20110000-0343

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

栗原　純	東京女子大学現代教養学部教授
森山　茂徳	首都大学東京大学院 社会科学研究科教授
中見　立夫	東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所教授
高橋　勝浩	宮内庁書陵部編修課・主任研究官
岡本　隆司	京都府立大学文学部准教授
関場　武	慶應義塾大学名誉教授
松崎　欣一	慶應義塾名誉教諭
井上　琢智	関西学院大学経済学部教授
秋山　倶子	元　日本女子大学成瀬記念館
宮内　環	慶應義塾大学経済学部准教授
大日方純夫	早稲田大学　大学史資料センター所長
末木　孝典	慶應義塾高等学校教諭

編集後記

本巻では、二つの特集を組んだ。両特集とも、それぞれ多くの先生方のご寄稿、ご協力を得て、充実した内容にすることができた。この場を借りて、感謝申し上げる。

特集1「近代日本の外交」は、近年、日本と周辺諸国との間に様々な外交問題が生起し、またそれらに対する議論が活発化していることを受けて、日本の外交に歴史の視角から光を当てることにより、これらの問題の本質に迫ることを意図したものである。特集2「事典がひらく新たな世界」では、当センターが中心となって編纂した『慶應義塾史事典』および『福沢諭吉事典』の完成を記念して昨年三月一〇日（震災前日）に開催されたシンポジウムの記録と、それに関連した論説等を掲載した。今後、事典というユニークなメディアの意義、活用法をめぐり、さらに議論が深まることが期待される。

今回の一般投稿論文は、査読の結果、論説一本の掲載が認められた。ほかに、福沢諭吉関係の新資料紹介を収めた。

本誌編集委員会は、本巻から一部委員が入れ替わり新しい陣容となった。本誌は、今後とも、福沢諭吉および慶應義塾史を中心とする近代日本研究の成果発表および交流の場（フォーラム）として、その役割をしっかりと果たしていく所存である。

次巻は、二〇一三年二月の刊行予定である。多数の野心的な論文の応募を期待したい。